

正副議長定例記者会見（令和6年12月定例会）

日時：令和6年12月13日（金）14：45～15：00

場所：観光スポーツ文教警察委員会室

三宅議長



松尾副議長



（時事通信社：幹事社）

定刻になりましたので、正副議長の記者会見を始めさせていただきます。なお、議長は次の公務がありますので、記者会見の時間は15時5分までとさせていただきます。

まず初めに議長からご挨拶をお願いします。

（議長）

はい。今日はお集まりいただきありがとうございます。12月定例会を閉じたところでの定例記者会見でございます。どうかよろしくお願いを申し上げます。

今議会でございますけれども、12月補正予算におきまして、当面措置が必要な経費として、児童手当制度等の拡充や定額減税に伴う奨学給付金対象拡大への対応、また、小中学校児童生徒1人1台端末等の計画的な更新のための基金の積み増し、県の試験研究機関等の機能強化や、県立特別支援学校の教育環境の充実のほか、人事委員会の勧告に基づく給与改定経費などを議決したところであります。

加えて、本日追加提案がありました、総合経済対策関係の追加予算も無事に議決できまして、今後、エネルギー価格や物価高騰、防災・減災対策など迅速に進んでいくことを期待しているところであります。

その他、産業振興や地域の活性化、そして教育行政の取り組みをはじめ、様々な課題に関して活発な質疑を通じて、非常に意義のある議論が展開されたのではないのかと大変評価をしているところであります。

また、中村知事の4期目について、ちょうど、スタートから折り返し、2年が経過したわけでありまして。これまで知事が公約に掲げておられたこと、その実現に向け様々な施策が非常に効果的に、着実に進められているという印象を抱いているところであります。今後とも、いい意味での緊張感を保持しながら、県政の一層の推進に向けて、切磋琢磨していけたらと思っているところであります。とりあえず冒頭、簡単のところでは

ありますが、挨拶に代えたいと思います。
以上です。

(時事通信社：幹事社)

ありがとうございました。続いて、副議長からご挨拶をお願いします。

(副議長)

はい。今回もマスコミの皆様には大変お世話になりました。先ほど議長のお話にもありましたように、本日、国の総合経済対策に対応しました追加予算が上程され、議決したわけですが、この中では、物価高騰・エネルギー価格への対応策として、LPガスの利用者への支援策でありますとか、中小企業が行います生産性の向上に資するような設備投資に対する支援など、県民の皆さんの生活や企業等の活動に対応した予算が盛り込まれたものというふうに思っております。

また、今後、防災・減災対策等さらに必要となってきますけれども、土木施設や農林水産施設の防災・減災対策に対する支援策等も盛り込まれたものが、今日、円滑に議決でき、一安心をしているところであります。

これらの予算を活用していただきまして県民の皆さんが、今後、豊かに、また安心した社会になるように期待したいと思っております。

私からは以上です。

(時事通信社：幹事社)

ありがとうございました。代表質問がありますので確認したいと思えます。

県議会をもっと身近に感じていただくため、子育て世代など、多くの県民が議会傍聴できる環境を整えていくと聞いていますが、具体的にどのような取り組みをしているか、また、どのような効果を狙っているのかです。

議長、よろしくをお願いします。

(議長)

はい。ご質問ありがとうございます。

私も愛媛県議会、県民に開かれた議会を目指していきたいということで、これまで様々な取り組みを行ってきたところであります。ちょうど昨日、議会運営委員会で報告をさせていただいたとおり、今回新たに親子傍聴室を設置するという事にさせていただきました。

これは、傍聴機会を拡大させていこうという取り組みの1つでございます。子育て世代の皆さんが、お子さんを連れて気兼ねなく本会議を傍聴できるようにということで、親子傍聴室を設置してはどうかと考え、議会改革検討協議会に検討をお願いしたものであります。

そして、議会改革検討協議会で、経費も抑えながら、そして早く開設するにはどうしたらいいかと、このような観点で検討してもらったのですが、ちょうど、傍聴席の上に、防音仕様のガラスを最初から張ってあるモニタールーム、ここに何とかできれば新たな工事也大して必要じゃないという中で、費用も抑えてできるんじゃないかと、そう

いうご提案をいただきましたので、実施することに決めたというところであります。この傍聴室には、長椅子のほか、ベビーベッドも配置する予定であります。子育て世代の若いお父さんお母さん、そういった方にも、傍聴にもっと来ていただきやすいように、そんな思いでやっております。また、こういうことが進むことが、主権者教育の推進にも繋がっていくと思っているところです。

(時事通信社：幹事社)

ありがとうございました。ただいまのお答えについて質問があれば各社の方から願います。

(テレビ愛媛)

スケジュール感みたいなものはあるのでしょうか。

(議長)

私の方から事務局に年明けの2月定例会に間に合うようにしてもらえないかということで指示させていただいたところでございます。

(テレビ愛媛)

こうした取り組みは、市町の議会を含め、他にも例はあるのでしょうか。

(議長)

手元で持っているのは、都道府県議会でどういうふうやってらっしゃるかというのは、調べてあります。現在、10道県議会で既に実施されているということですから、他に、もしいらっしゃらなかったら11番目になるかもしれませんね。

(テレビ愛媛)

県内でも、こうした傍聴室を設けるのは、県議会が初めてだったりされるのでしょうか。

(議長)

そこまで調べてはないですね。でも、どんどんやって欲しいですね。

(時事通信社：幹事社)

議会が開かれている時間というのは、やっぱりお昼頃になろうかと思えます。なかなか子育て世代は来にくいのかなと思うんですけども、そういった方々へどういうふうに来ていただけるように働きかけていきますか。

(議長)

そうですね。ちょっと考え方は違うかもしれませんが、今のところ取り組みさせていただいているのは、本会議場での発言というのをインターネットで見られるというのがリアルタイムじゃなくても、録画で見られるというところも、今やっています。そう

いったところも、しっかり活用しながら、多くの県民の皆さんに関心を持っていただけたらありがたいなと思っています。

(時事通信社：幹事社)

ありがとうございます。その他質問ございますか。

(愛媛新聞)

主権者教育を強化するというお話で、お子さんとかも入るルームを作るということだったんですけど、いわゆる他にまた強化していきたい、特に若年層の世代の政治への関心というのはこれからの政治を決めていくところで、そこら辺に対しては何か今、力を入れていることがあったら教えていただけたらと思いますけど。

(議長)

今期、とりあえずできたことがありますけれども、それは、今まで議会事務局の職員が大学に行ってレクチャーしていたというところがありますが、これを、皆さんに選ばれた政治家の生の声でやれないかということで、今回は愛媛大学で副議長にレクチャーをしてもらって、また学生からも、非常に意欲的な質問もたくさん出たとお聞きをさせていただきます。

そして、またこれに留まらず、議会改革検討協議会で、一層の取り組みについてご議論をいただいているところですが、非公開の協議会なので、各党派皆さんが合意をしたことが答申として上がってきますので、今後も良いご報告ができればと思います。

(愛媛新聞)

ちょっと答えにくいかもしれませんが、副議長が愛大のほうに行かれたということなんですけど、今の若い世代に、政治に関心を持ってもらうにはどういうことをしたらいいかなというふうなことを感じられましたか、何か話せることがあったら。

(副議長)

私からいいですか。そうですね、議長がおっしゃったように愛大の法学部の講義の中で、今まで議会事務局の皆さんが、地方議会のあり方とか、議会事務局の仕事などを紹介していたんですけど、今回、議員自ら働きかけようということで、議会を代表して行かせていただきました。私は、政治家を志したきっかけとか、普段の議員活動でどういうことをやっているかっていうようなお話をさせていただいたのと同時に、メインは議会発議で行う条例の制定をしていく意義というものをお話しさせていただきました。

そのあと、いろいろ質疑応答もあったんですけど、終わった後の学生の皆さんの感想を聞きますと、議員本人の言葉を聞いて、いろいろと身近に感じる事ができたとか、まずは、自分の身近な地域の課題、そういった問題点に意識を持って、それをどうやって解決していくかというようなことに関心を持つということが、政治参加の第一歩になるんだということが理解できたというような感想をいただいたので、我々議員自らがそういうところに出向き、直接話をしていくということは、僕らはそう遠くないと自分では思っているんですけど、若い人たちからすると、意外と県議会議員や市議会議員

と直接話す機会というのではないというふうにも決めつけて、話し掛けてもなかなか対応してくれないんじゃないかというような意識があるように感じたので、我々議員が積極的にそういう若い世代と交流を持つということが大切なのかと感じました。

(愛媛新聞)

ありがとうございます。

(時事通信社：幹事社)

その他質問ありますか。それでは代表質問以外、質問のある方はお願いいたします。

今日、追加の補正予算が提案されて、即日可決するという事になったかと思えます。国の経済対策ですぐに対策をしなければいけないということはわかるんですけども、やはり400億という規模の審議の時間がちょっと不十分だったのかなと感じる部分もありました。

議会として今回その審議、追加提案のスケジュール感であったりとか、もし思ったことがあれば教えてください。

(議長)

はい。私は以前思っていたのは、この時期の補正、国の経済対策となると、どうしても、議会が閉会してからということもあったと記憶をしておりますが、近年では、何とか間に合うように意識して、多分してらっしゃるのかなと、国の方も。そこは評価したいところだと思っております。

それと、すでに閣議決定されていて、どういう内容のものが大体、こっちにくるのかというのが分かる中で、進んできているので、我々の方も、まっさらで今日初めて話を聞いたということではなく、ある程度事前に感じられる部分を持ちながら、今日、審査に臨めたので、あと、委員会においても、十分な審査はやっていただけたのかなというふうに受けとめています。

(時事通信社：幹事社)

副議長もあれば。

(副議長)

そうですね。国が出した経済対策にいち早く対応するということが拙速じゃないかという意見もあります。一方で、県民の生活や企業に対しての支援策を行うということは大事なことなので、閉会日に合わせて何とか成立をさせようという意図で理事者の皆さんも頑張って予算案を作っていたわけですので、それを議会として、今日対応して、議決をさせていただいたということで、県民の皆さんにはいち早く国が行った経済対策が届くのではないかなというふうには思っています。

(時事通信社：幹事社)

ありがとうございます。その他、質問ありますか。それでは、以上で、正副議長の記

者会見を終わります。

※議事録については、読みやすさや分かりやすさを考慮し、発言の趣旨等を損なわない程度に整理しています。